

業界団体の将来ビジョン

業界団体の将来ビジョン(概要)

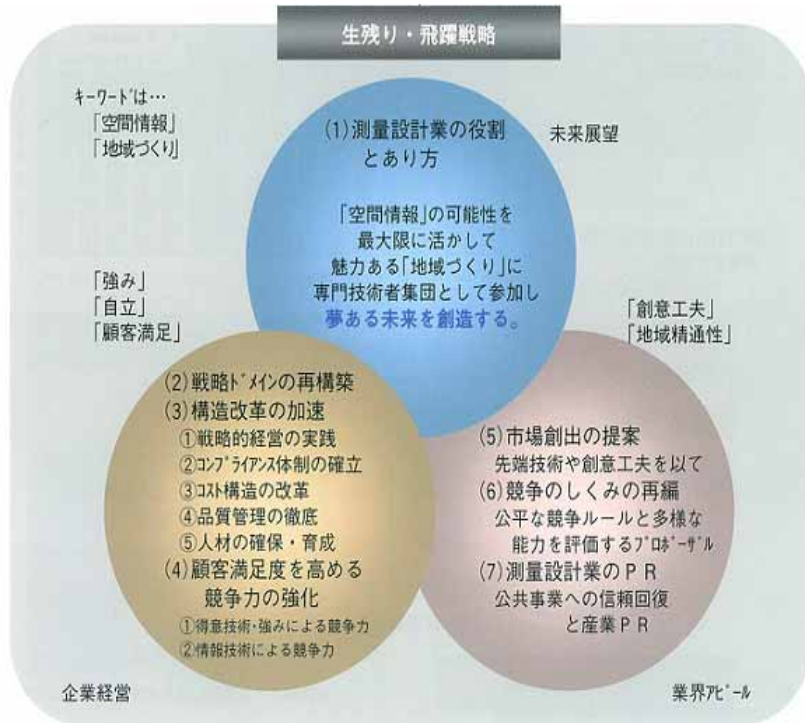
(社)全国測量設計業協会連合会

(社)建設コンサルタント協会

(社)全国地質調査業協会連合会

測量設計業の未来展望

地域に信頼される測量設計業を目指して



1. 測量設計業のあり方と役割

「空間情報」の可能性を最大限に生かして魅力ある「地域づくり」に専門家技術者集団として参加し、夢ある未来を創造する。

2. 戦略ドメイン(事業領域)の再構築

得意分野を絞り込み専門特化、合従連衡等自社の戦略ドメインの再構築。

3. 構造改革の加速

時代の変化・市場の変化を見据え、発想転換と自立した企業体質づくり。

4. 顧客満足度を高める競争力の強化

顧客満足度を起点とした企業体質の改善、競争力の要素に！

5. 市場創出の提案

市場変化は新たなビジネスチャンス。住民目線、住民ニーズは新たな市場の胎動(住民市場)。

6. 競争のしくみ再編

公共調達が多様化や自由度の向上、企業努力が反映される競争環境の実現と競争のしくみ再編。

7. 測量設計業のPR

地域ニーズや住民の理解を得られる公共事業の推進に専門技術で貢献、公共事業への信頼回復努力と産業PR。

建設コンサルタントのあるべき姿

- 21世紀の社会資本整備をリードする
- 拡大する役割と領域で積極的に活躍する
- 技術を磨き技術を競う
- 健全な企業経営のもと優秀な技術者が自己実現できる



建設コンサルタントの構造改革 (5つの柱)

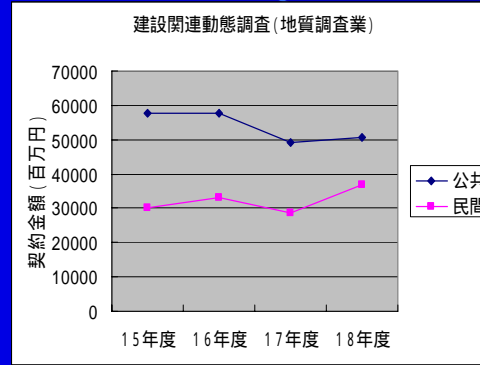
- **新しい領域の開拓と拡大**：設計者、発注者のパートナー 自らの役割の拡大・新事業領域の開拓(CM、発注者支援、維持・修繕・運用業務、海外市場、PFI等市場、周辺市場)
- **企業配置の再編**：<地域性×分野×役割分担> デザイン・コンサルタント、エンジニアリング・コンサルタント、コンプリヘンシブ・コンサルタント
- **技術競争市場の形成と技術開発**：技術競争が可能な選定・契約方式、企業と技術者の適切な評価制度、登録制度(業務の要求技術レベルと企業の技術レベルの整合性) / インセンティブが働く技術開発制度、投資の集中等
- **組織主体から技術者主体への転換**：資格・実績を中心とした適切な技術者評価、優秀な技術者の確保と継続的育成、魅力ある勤務環境(業務内容、執務環境・条件、処遇等)の整備
- **企業倫理、技術者倫理の堅持**：適正な競争、契約条件の遵守、関連法令の遵守 / 技術者として、資格取得者として、コンサルタントとしての倫理

地質調査業の将来展望・将来ビジョンについて

(社)全国地質調査業協会連合会

周辺環境の変化(1)

- 公共事業予算の縮減が続く。
- 地質調査業の契約額の縮減も続く。
- 公共事業に対するコスト縮減、説明責任への国民的関心が増加。
- 依然強い市場閉塞感が業界にある。
- また、コンプライアンスに関する一連の事件から発注方式の変更や品質向上への取組が取られている。



周辺環境の変化(2)

(1)地質への関心が高まる。

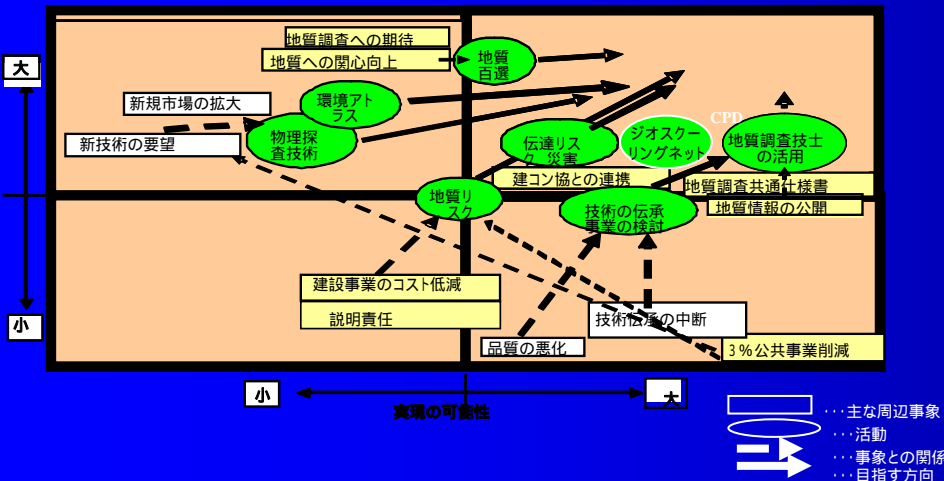
地質百選への関心高まる
約20件新聞・広報報道
世界的な関心・・・ユネスコを中心とした取組
ジオパーク構想(地質遺産保護)
IYPE(国際惑星地球年)2007年～2009年
日本的な関心
観光立国・・・美しい日本
地球環境保護の関心
後世に残す責任と伝える責任。
地球環境は、浄化して、未来へ。

(2)地盤情報への関心拡大

地盤情報公開に向けた動き。

- 中越沖地震で更に地質調査関連事象への社会的関心が高まる。
- 2007年新潟県中越沖地震(7月16日)
特徴 直下型、海岸平野に被害、2004年中越地震被害圏近傍、
原子力発電所立地地点
地震規模(M6.8、震度6強、)
被害・・・盛土・自然地盤の液状化被害、斜面崩壊、建物倒壊

全地連の主な活動とその位置付け (地質調査業の活性化の実現に向けて)



まとめ

- 公共事業予算の削減、発注方式の変化など従来の環境が大きく変化しつつある。
- このような中、地質、地盤が、防災・環境などの点で注目されている。更にコスト削減および説明責任の観点から地質調査が注目されつつある。
- これらの動きから地質調査業は、今後より注目されることが予想されるが、この流れを積極的提案と資格の充実などにより掴むことが重要と考える。
- 全地連は、各地区協会と連携して、上記の認識で地質調査業の発展のため、今後も活動を進めます。